

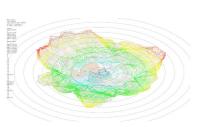


Projects (Architecture)





































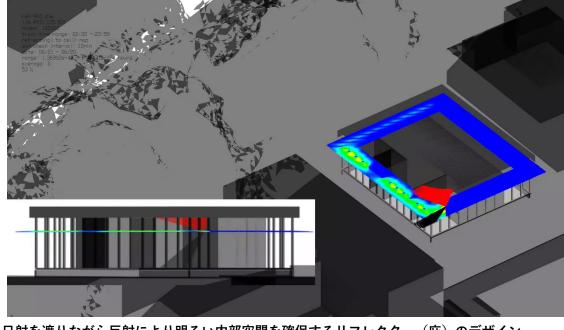






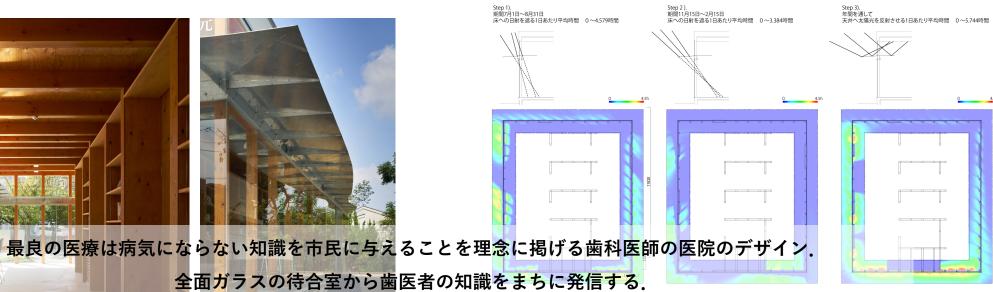
Takeyama Dental Campus, 2018





日射を遮りながら反射により明るい内部空間を確保するリフレクター(庇)のデザイン





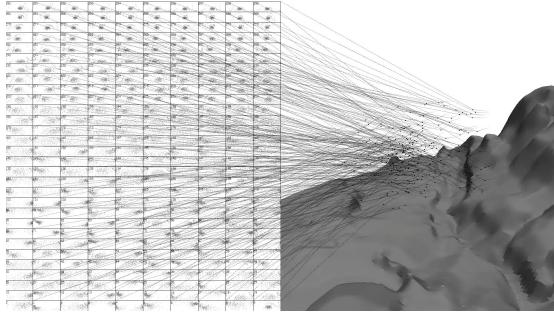






House in Nagohara, 2014





エージェントの群れが周辺環境を読み取る様子





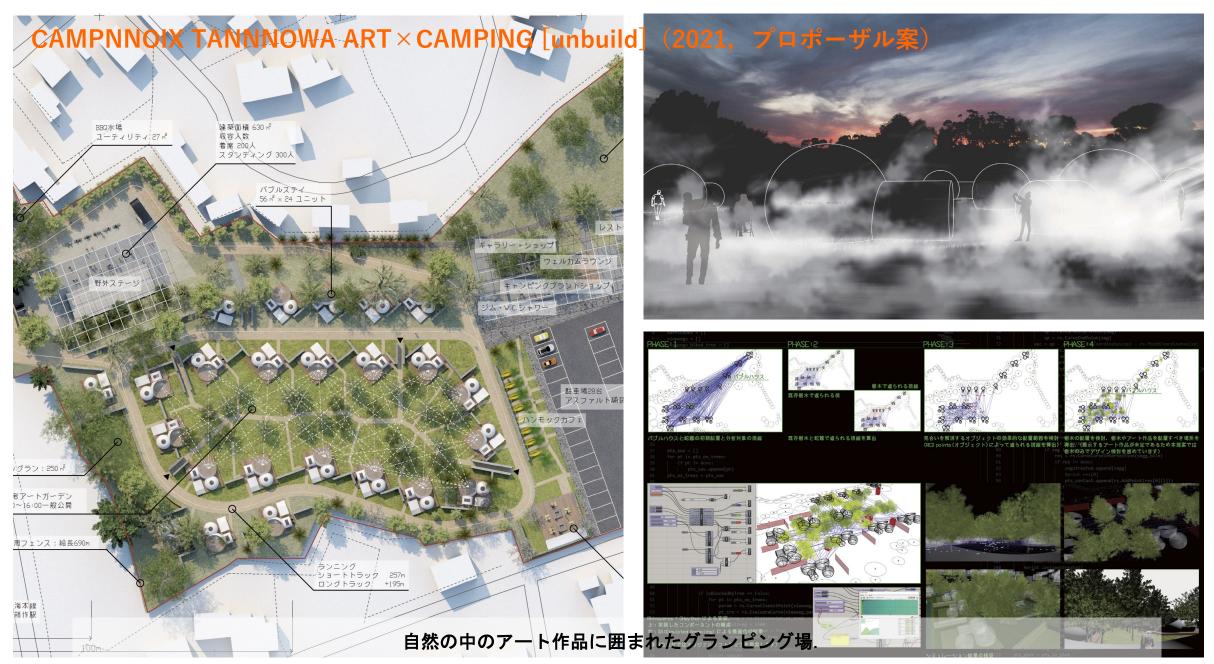








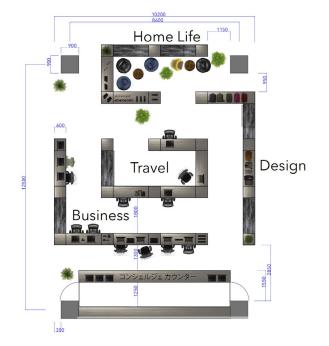




アート作品の配置を最適化しアンビエントにプライバシーを確保するデザイン.

LABI東京八重洲 PC売り場(2015)







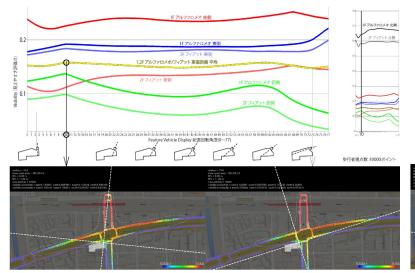
同じ什器ユニットで72以上の配置構成バリエーション

滞在時間を最大化する電化製品の売り場デザイン

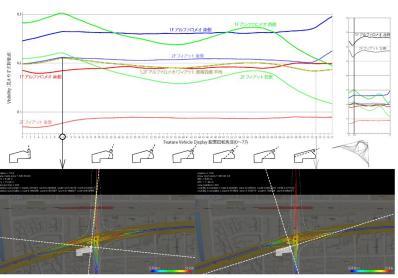
街からの自動車の"見え"を最適化した自動車ショールーム.



まちから最も見られやすいショールームのかたちを導き出す



歩行者の視点からの展示車のビジビリティ評価



自動車の視点からの展示車のビジビリティ評価





Yグループ 芦屋自動車ショールーム[unbuild] (コンペ応募案, 2016)



Projects (Exhibition)

1998 《2 Skins -Architecture without building》NWハウスギャラリー、東京

2020 Neurones / Mutations Crèations 4 Centre Pompidou, PARIS, 2018 《Limitless CO-EXISTENCE》LEXUS Milano design week 2018 cavallerizze. ミラノ 2017 《Super Eve to see the world》 Japan-ness. Architecture and urbanism in Japan since 1945 – ポンピドゥーセンターメス 2016 《House in Nagohara》 (GA PLOT 2016) GA Gallery, 東京 2016 《HUGO》 (GA Houses project2016) GA Gallery, 東京 2016 《dgpb #6.0》感覚ミュージアム、宮城 2015 《Kyoto Street View -time map》(マテリアライジング展)ギャラリーアクア、京都 2014 《鄭東新区街路ネットワーク -解析から設計へ》(磯崎新:都市ソラリス)NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2014 《HUGO》 (PLOT) GA Gallery, 東京 2014 《BAU advertising office AB》 (JAPAN ARCHITECTS 1945-2010) 金沢21世紀美術館 2014 《Corpora in Si(gh)te》 (Meta. Morf) Trondheim Kunstmuseum Gramolna, Trondheim Norway 2013 《understanding》 (磯崎新:都市ソラリス) NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2013 《House in Nagohara》(マテリアライズ展)東京藝術大学 陳列館、東京 2012 《コーポラ 凝固・凝結》(Open Space 2012)NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2012 《Super Eye to See the World》(Mediacity Seoul 2012)Seoul Museum of Art、ソウル(韓国) 2012 《gravicells R》 (2012 Energy) Daejeon Museum of Art (DMA)、大田(韓国) 2011 《gravicells R》 (International Triennial of New Media Art) the National Art Museum of China (NAMOC)、北京(中国) 2011 《Corporate Eves》(見えない世界のみつめ方)東京都写真美術館、東京 2010 《Corpora.Prospect》 (Lexus Hibrid Art) Vetoshnvv、モスクワ(ロシア) 2010 《Corpora in Si(gh)te》 (Laboratorio Arte Alameda) 、メキシコシティ(メキシコ) 2010 《gravicells R》YCAM山口情報センター、山口 2009 《MU: Mercurial Unfolding 中谷芙二子(アーティスト)と協働》東京日仏学院、東京 2009 《Corpora.Prospect》 (Mission G) NTTインターコミュニケーションセンター.東京 2009 《Corpora in Si(gh)te》 (ARS electronica.09):リンツ (オーストリア)、 (transmediale.09):ベルリン (ドイツ) 2008 《Corpora in Si(gh)te》(第11回ベネチア国際建築ビエンナーレ ハンガリー代表)ハンガリーパビリオン、ベネチア(イタリア) 2008 《gravicells》 (Open Space) NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2007 《Corpora in Si(gh)te》山口情報芸術センター個展、山口 2007 《Corpora.proceed》(美麗新世界)広州(中国)、美麗新世界)北京(中国) 2007 《gravicells》 (EL MEDIO ES LA COMUNICACION):テネリフェ (スペイン) 、Mois Multi):ケベック (カナダ) 2006 《gravicells》 (0.0.H.) 、ヒホン (スペイン) 2005 《Corpora.proceed(Daejon.sky)》(Digital paradise)Daejon Museum of Art、大田(韓国) 2005 《Set The Controls For The Pieces》ギャラリーマウンテンボックス、長野 2005 《Corpora.proceed(sky)》 (オープン・ネイチャー) NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2005 《plaNet Former》(アート・ミーツ・メディア)NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2005 《gravicells》 (Possoble Futures) NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2005 《gravicells》 (Ars Electronica.05) 、リンツ(オーストリア) インタラクティヴアート 2005 《gravicells》(EXIT Festival):クレッテイユ(フランス)、(VIA Festival):モブージュ(フランス)、(share Festival):トリノ(イタリア)、 (transmediale.05):ベルリン (ドイツ) 2004 《gravicells》 (DEAF04) 、ロッテルダム (オランダ) 2004 《gravicells》YCAM山口情報センター、山口 2003 《重力と抵抗》 (コミュニケーションの現在2003)、NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2003 《dapb #3.0》感覚ミュージアム、宮城 2002 《plaNet Former》 《Resource Hanger+》 (Artbit collection、) NTTインターコミュニケーションセンター、東京 2002 《plaNet Former》 (資生堂ネットギャラリー CvGnet)、東京 2000 《鎖漠値帯》 (PROTOCOLLISION) 、ロッテルダム (オランダ) 2000 《dgpb -dynamic quadruple phonic building》感覚ミュージアム、宮城

コーポラ凝固・凝結(グループ展) 期間: 2010 3月17日~5月11日

NTTインターコミュニケーションセンター フレーム: OpenSpace2012 コミッション:

NTTインターコミュニケーションセンター キュレータ: 畠中実





コーポレイテッドアイズ(グループ展) 期間: 2011 12月13日~2012 1月29日 場所: 東京都写真美術館 フレーム: 見えない世界のみつめ方 コミッション:東京都歴史文化財団 キュレータ: 山峰潤也





コーポラ・イン・サイト メキシコシティ (グループ展) 期間: 2010 3月17日~5月11日 場所: Laboratorio Arte Alameda (INBA, National Fine Arts Institute) フレーム: Dynamic (in)position. コミッション: Ars Electronica in Mexico

コーポラ・イン・サイト ベニス(個展)

期間: 2008 9月14日~11月23日 場所: ベネチアビエンナーレ

キュレータ: Gyula Július

コミッション: Műcsarnok 総括監督: Dr. Petránvi Zsolt

キュレータ: Július Gyula









コーポラ・イン・サイト (個展) 期間: 2007 10月13日~2008 1月13日 場所: 山口情報芸術センターYCAM コミッション:山口市文化振興財団 キュレータ:阿部一直 プロダクション・サポート: YCAM Interlab.







LEXUS | DESIGN EVENT 2018

LIMITLESS CO-EXISTENCE







デザインの無限の可能性を探るLEXUSが出展したのは -

イタリア・ミラノで毎年4月に開催される世界最大の 国際デザインエキシビション — ミラノデザインウィーク



新進気鋭のクリエイターとのコラボレーションを通じてデザインの無限の可能性を探るLEXUSが出展したのは ——

異なる要素の融合と相乗効果によって新たな価値を生み出す LEXUSの思想 "CO-共"を表現した体験型インスタレーション

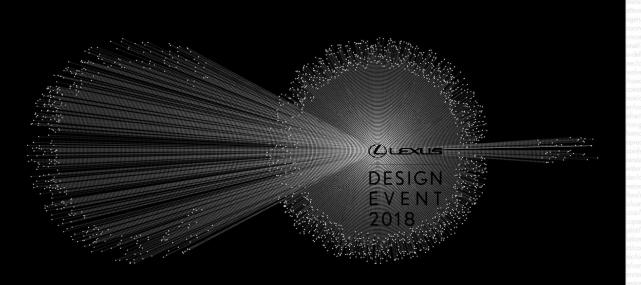
I I M I T L E S S C O - E X I S T E N C



「全ての存在が誰一人として影にならないように共存する世界」



この一見不可能にも思える「完全なる共存の状態」の創造を たった一点からの光源のみでデザインすることに挑戦 ——



FOCUS

To unlock our collective potential, we must start with ourselves

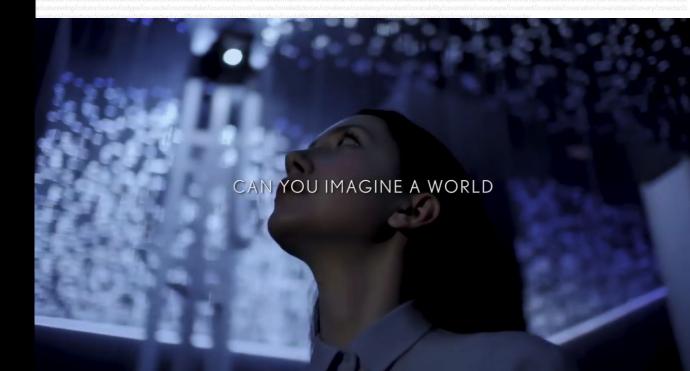
FOCUS

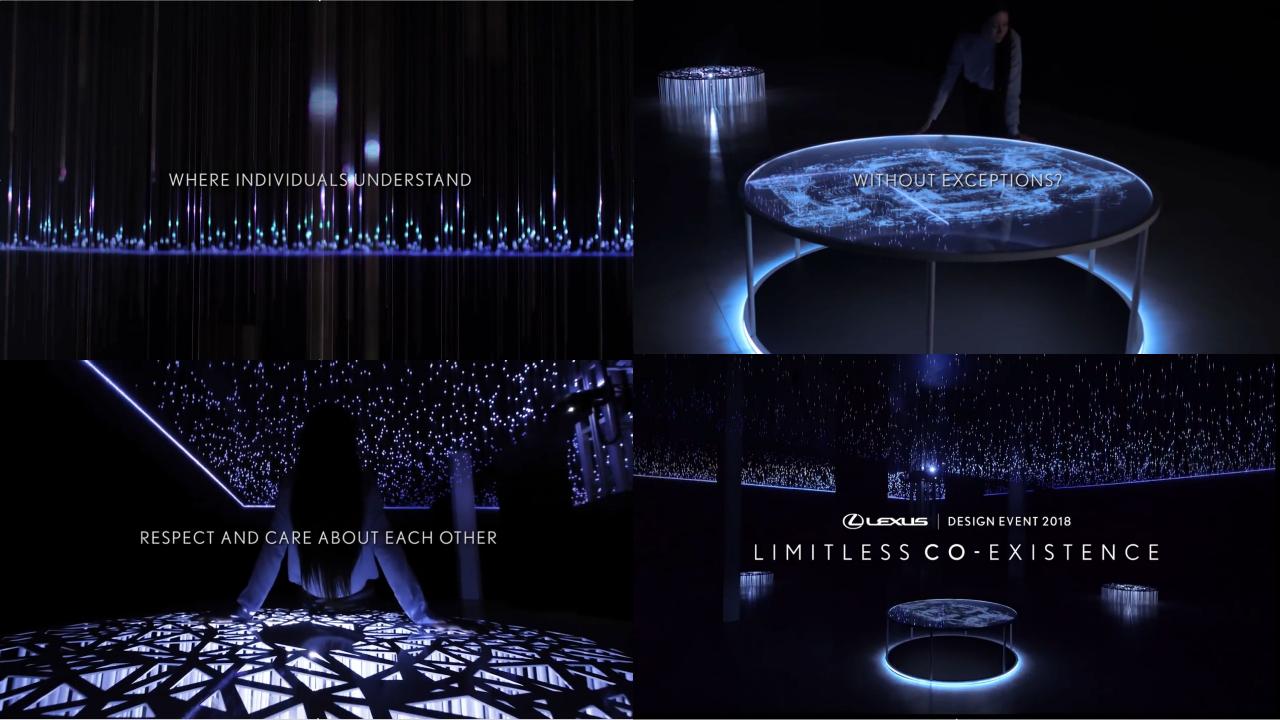
Per sbloccare il nostro potenziale collettivo, dobbiamo iniziare da noi stessi.

Theme "CO-"

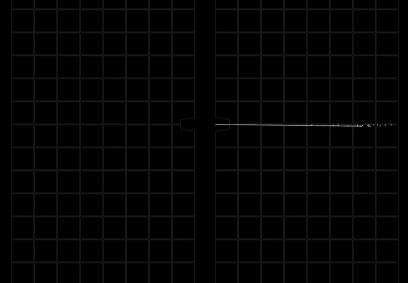
Collaboration (協力), Coauthor (共著者), Cooperate (協同), … "CO-" からはじまる単語は全て他者の存在があって成立する. 全ての他者が共存する空間として

一点の光源からの光が空間に存在する全てのものに光を当てる空間をデザインした.

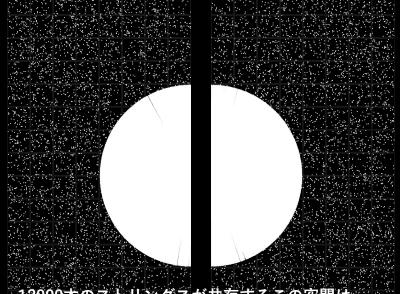




ストリングスの配置を綿密に計算することで, 一見ランダムに配置されたようで, どのストリングスもどのストリングスの影とならない配置を実現した.

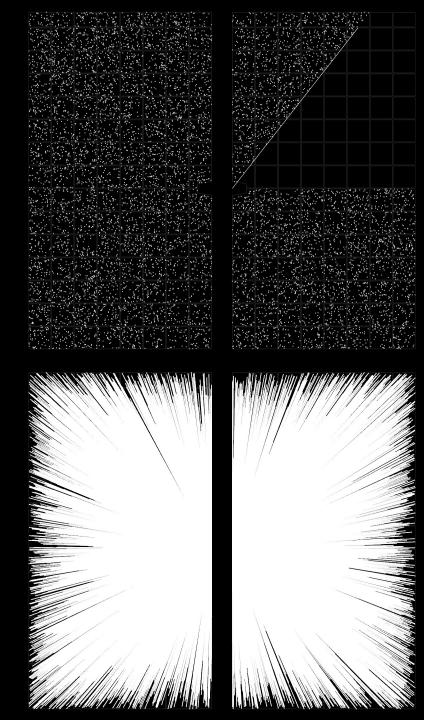


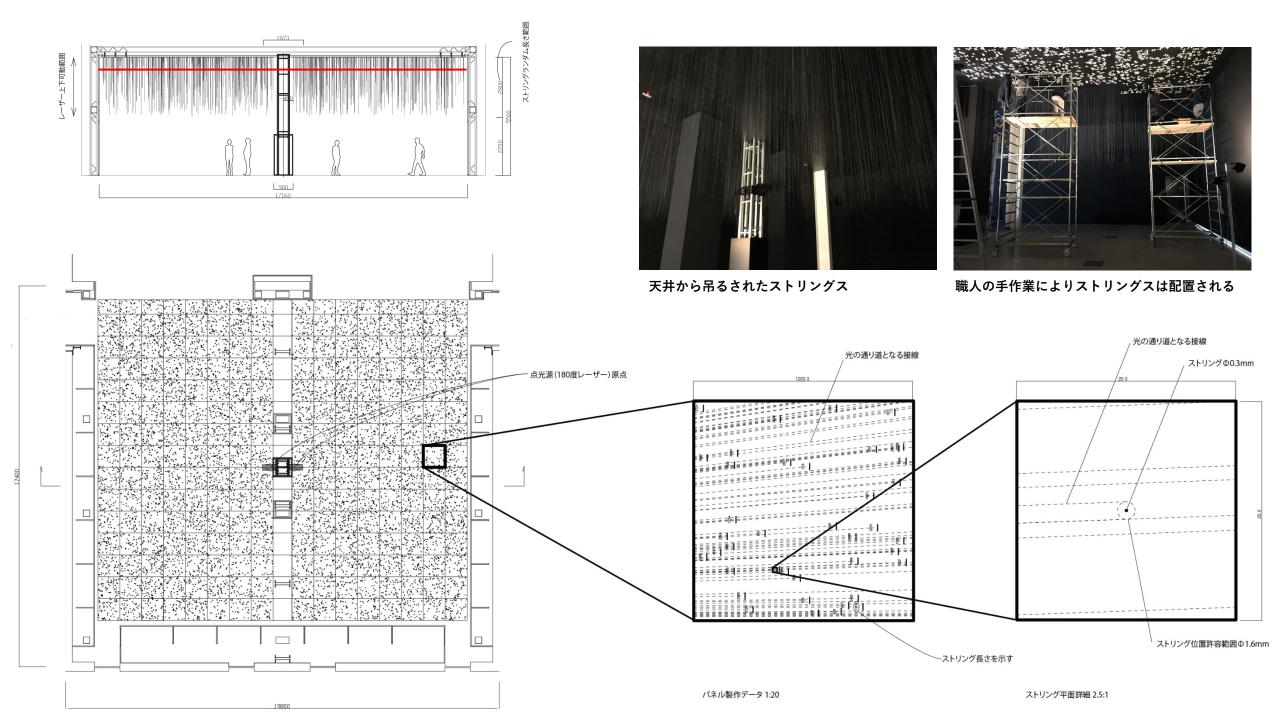
空間に配置された直径0.3mmのストリングスは、私たち一人ひとりを表している。

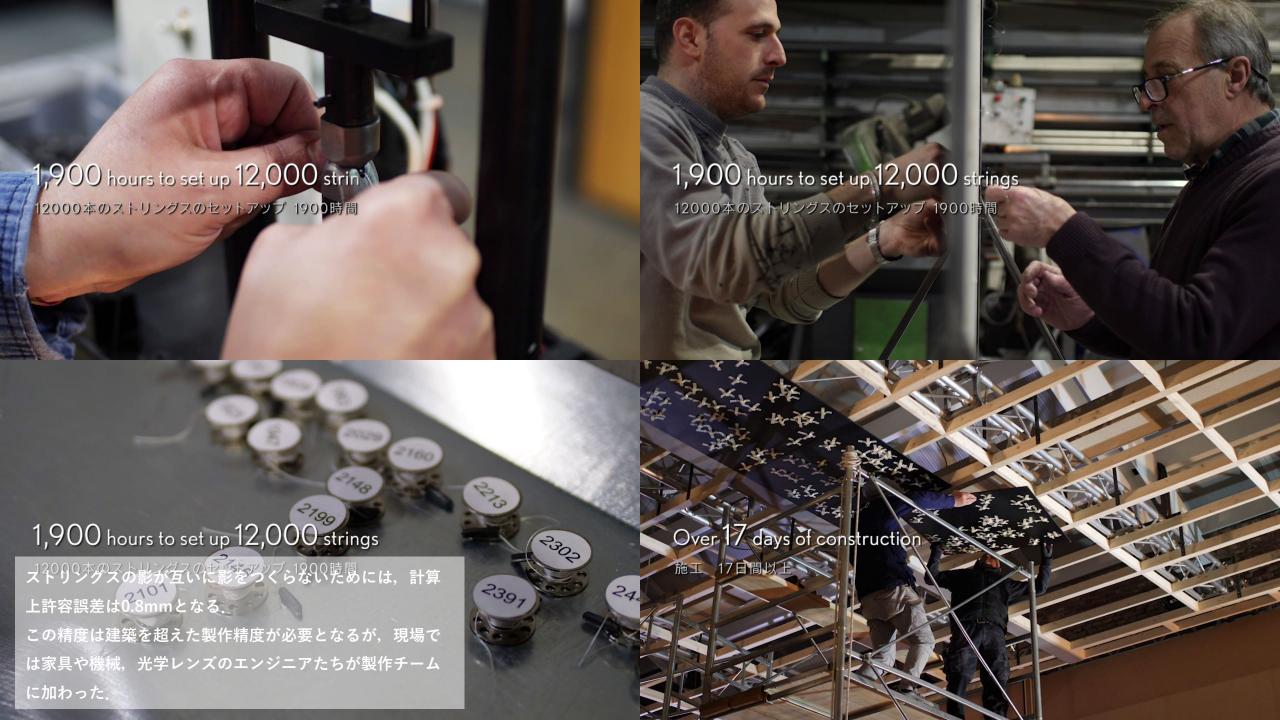


12000本のストリングスが共存するこの空間は、

他者の存在を認めながらも個人が自由に存在できる世界を表現したものである。



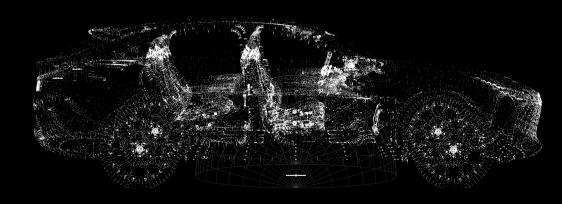




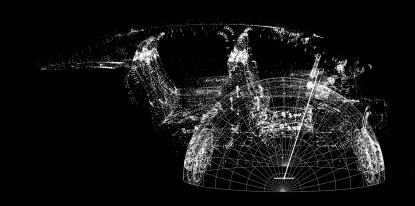








一台の自動車は約3万個のパーツからできている。通常我々はそのすべてを見ることはできないが、全てを見渡すとどのような世界が見えるだろうか。 私たちは設定した視点から全てのパーツの3次元位置を極座標系で捉え、平面図に座標変換することで、地球を同時に見渡すことができる世界地図のように 小世界とも言える自動車を見渡す地図を描いた。

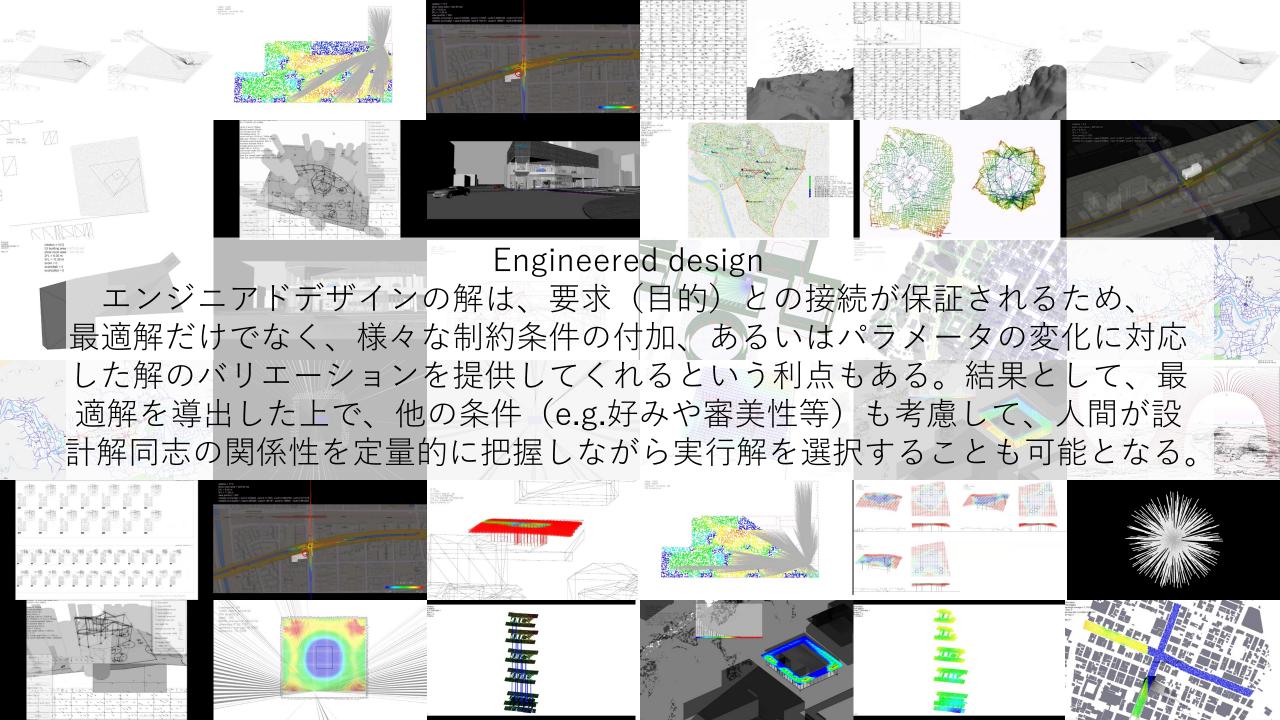








会場では、自動車が世界地図のように展開される様子を実車(LF1-LIMITLESS)にプロジェクションマッピングして展示した。



株式会社 QAI 一級建築士事務所

(東京都知事登録第58245号)



Arai 新井崇俊

博士(工学). 一級建築士

2007年 京都大学工学部建築学科卒

2013年 東京大学大学院工学系研究科博士後期課程修了

2013~18 東京大学生産技術研究所特任助教

2019~23東京大学生産技術研究所助教

2023~東京大学生産技術研究所特任講師



Ichikawa 市川創太

修士(美学). 一級建築士. 管理建築士

1994年 東京藝術大学美術学部建築科 卒業

1996年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程 修了

2001~04年 東京造形大学非常勤講師

2001~09年 多摩美術大学非常勤講師

2013~16年 東京大学工学部スタジオ講師

2014~16年 東京藝術大学AMC非常勤講師

2014~16年 東京藝術大学美術学部建築科非常勤講師